

第15回

台東区子供歴史・文化検定

問題用紙（中学生用）

- 解答時間は45分間です。
- この問題用紙は指示があるまで開かないでください。
- 解答は、解答用紙（マークシート）の正解だと思う○の中を正確に塗りつぶしてください。

《 解答用紙（マークシート）記入・マーク上の注意 》

- 1 記入欄・マーク欄以外には何も書かないでください。
- 2 えんぴつで、しっかり濃く塗りつぶしてください。
- 3 間違えた場合は、消しゴムできれいに消してください。

学 校 名	学 年	ク ラ ス	名 前
中学校	年	組	

台東区教育委員会



(問題は次のページから始まります。)

問1.

1603（慶長8）年に徳川家康が開いたのは、何幕府でしょうか。

- ア. 鎌倉幕府
- イ. 室町幕府
- ウ. 安土幕府
- エ. 江戸幕府

問2.

明治時代以降の台東区に関する説明文です。正しいものはどれでしょうか。

- ア. 浅草六区と呼ばれる一帯は、明治時代以降に芝居小屋、劇場、映画館などが建つ娯楽施設を集めた区域になりましたが、実は浅草に一区から五区などはなく、「六区」という表現は当時流行していたジャズやロックのロックに当て字して、繁華街らしい表現にしたものです。
- イ. 現在、高層の建物は見慣れたものになりましたが、明治時代に浅草には凌雲閣という塔と呼べる建物が建てられました。これは三十五階とも呼ばれ、大変に人気を呼びました。
- ウ. 大正時代に起こった大地震（関東大震災）は多くの死傷者や家屋の倒壊といった被害を生じさせましたが、その主な要因に地震が起こったのが昼食の時間帯で、カマド、七輪、火鉢、ガスコンロといったものの火が燃え広がったことが挙げられます。
- エ. 台東区は下谷区と浅草区とが合併して生まれたものですが、合併が行われたのは明治時代のことでした。

問3.

1842（天保13）年2月、浅草に中村座と市村座が移転してきて、町という芝居町ができました。翌年には、森田座の控え櫓（有名な座が休演するときに限って公演が許された座）である河原崎座も移ってきて、いわゆる三座が生まれます。これに、結城座などの操り人形の座も加わり、浅草北部は大いに栄えました。に入る言葉は何でしょうか。

- ア. 牛若
- イ. 猿若
- ウ. 寅若
- エ. 鳥若

問4.

太平洋戦争において、本土空襲の本格化が予想された戦争末期、空襲を避けるため多くの子どもたちが親元を離れた生活をしいられました。

1944（昭和19）年3月には、親類縁者などを頼って地方に移住させるようになります。そして、8月にはさらに、親類縁者を頼れない児童を学校単位で地方へ移すことが始まりました。これを何と呼ぶでしょうか。

- ア. 学童疎開
- イ. 学童避難
- ウ. 学校疎遠
- エ. 学校退避

問5.

上野公園を散策していたところ、正岡子規記念球場の南側に5メートルほどの高さの丘がありました。上にのぼる石段の脇に説明板があり、「埴輪の破片などが出土し、約千五百年前の前方後円形式の古墳と考えられている。」と書いてありました。かつてこの地域を支配していた豪族のお墓のようです。さて、この古墳の名前は何かというのでしょうか。

- ア. 鳥越古墳
- イ. 摺鉢山古墳
- ウ. 石浜城館跡
- エ. 都立谷中霊園

問6.

明治時代になると新政府は諸外国にあるような公園を設置しようとした。1873（明治6）年、日本で初めて5カ所が公園指定を受けましたが、それに含まれない公園はどれでしょうか。

- ア. 浅草公園
- イ. 井の頭公園
- ウ. 芝公園
- エ. 飛鳥山公園

問7.

上野桜木町遺跡では古代（飛鳥・奈良・平安時代）の貝塚からハマグリの殻がたくさん見つかりました。このことから当時の様子として考えられることはどれでしょうか。

ア. このあたりは海に近く、漁がおこなわれていた。

イ. 上野の台地にある上野桜木町は隅田川の川底だった。

ウ. この台地は1000メートル級の山の上だった。

エ. このあたりにはまだ人が住んでいなかった。

問8.

古墳時代に上野台周辺に住んでいた人は、どのような家に住んでいたでしょう。

ア. 竪穴住居

イ. 長屋

ウ. 文化住宅

エ. アパートメントハウス

問9.

第二次世界大戦後、戦争に行っていた人や国外で生活していた人が戻ってきたために、国内には人口が増えて、食べるものや着るものに困る人が多くいました。そうした混乱から露店が集まるようになり、商店街として発展した場所はどこでしょうか。

- ア. 仲見世
- イ. 佐竹商店街
- ウ. 浅草広小路
- エ. アメ横

問10.

次の文章は江戸時代の江戸に住む人々の生活を説明したものです。間違っているものはどれでしょうか。

- ア. 江戸時代の町人らは裏通りの長屋に住むのが普通でした。それぞれの家には便所（トイレ）や井戸はなく、屋外で共同使用するものがありました。
- イ. 江戸時代に流行した「庚申信仰」とは、庚申の日に夜通し起きていると長生きできるというもので、各所に庚申塔という石造物がつくられました。
- ウ. 江戸時代、飲料水の確保は欠かせないことでした。その中で玉川上水は富士山から四谷大木戸まで水を引いてきたものでした。
- エ. 江戸時代の中期から後期にかけて、ペットとしてカナリヤや鶯を飼って、声の美しさを楽しむことが流行しました。

問 1 1.

20 年近くかけた工事の末、1930（昭和5）年に荒川放水路が完成しました。現在は荒川と呼ばれています。さてこの大工事は主にどのような理由から行われたのでしょうか。

- ア. 明治時代に東京がたびたび洪水に見舞われたため。
- イ. 東京の田んぼがいつも水不足だったため。
- ウ. ボート競技の普及が急がれたため。
- エ. 都民が花見を楽しめるように土手に桜を植えるため。

問 1 2.

江戸時代の中期以降、しばしば短い期間に集中的に、ある特定の神や仏をおまつりし、参詣することが流行しました。台東区内でも、太郎稲荷や西町太郎稲荷が流行します。このような神仏をなんというのでしょうか。

- ア. 疫病神
- イ. 参詣神
- ウ. 貧乏神
- エ. 流行神

問13.

江戸時代から明治時代にかけて、現在の新聞や雑誌などにあたる大衆向けの印刷物が売られていました。人通りの多い場所で売られ、読売とも呼ばれました。噂話を扱っているということで、違法な摺り物として禁じられていましたが、大衆の求めに応じて出版され続けました。その多くは木版の一枚刷でしたが、名前の由来には、粘土を固めて文字を彫り、瓦のように焼いたものを原版にして摺った物という意味もあります。この摺り物のことを何というのでしょうか。

- ア. 新聞
- イ. 雑誌
- ウ. 瓦版
- エ. 官報

問14.

江戸にはあるものを鳴らして時刻を知らせるシステムがあり、それは□と呼ばれていました。□に入る言葉はどれでしょうか。

- ア. 時の鐘
- イ. 時の笛
- ウ. 時のサイレン
- エ. 時の鈴

問15.

江戸時代ではいろいろなものがリサイクルされました。江戸時代のリサイクルについて間違っているものはどれでしょうか。

- ア. 箒^{ほうき}売りは古い箒を下取りして、縄^{なわ}やたわしにつくり直して売った。
- イ. 古傘^{ふるがさ}買いが買い集めた古傘は、傘^{かさ}の骨^{ほね}と油紙に分けられて再利用された。
- ウ. カマドの灰^{はい}は灰^{はい}買いに買い取られ、肥料^{ひりょう}や染め物^{そめもの}に使われた。
- エ. 段ボールは長屋の大家さんが収^{しゅう}集^{しゅう}し、売ったお金をためて皆で花見をした。

問16.

台東区内では伝統工芸品^{でんとうこうげいひん}が数多く作られています。次の中で伝統工芸品に当てはまらないものが一つあります。それはどれでしょうか。

- ア. 江戸つまみ簪^{えど かんざし}
- イ. 江戸切子^{きりこ}
- ウ. 東京仏壇^{ぶつだん}
- エ. ペットボトル

問17.

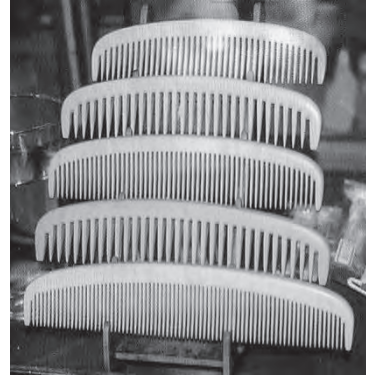
下の写真は、区内在住の職人^{しよくにん}がつくった工芸品です。この製品^{せいひん}の歴史は古く、縄文時代^{じょうもん}の遺跡^{いせき}からも見つかっています。今では髪^{かみ}の毛をすく（とかす）のによく使われているこの製品の名前は何でしょうか。

ア. ガラスペン

イ. 襖引手^{ふすまひきて}

ウ. 房紐^{ふさひも}

エ. つげ櫛^{ぐし}



問18.

台東区内には地域^{ちいき}によって産業、町並みに特徴^{なとくちよう}があるといえます。そうした説明文に関して間違^{まちが}っているものはどれでしょうか。

ア. 御徒町周辺^{おかちまち} → ここには宝石^{ほうせき}や貴金属^{ききんぞく}を扱う、宝飾^{あつか}を中心とした卸^{ほうしよく}の店^{おろし}が多く見られます。

イ. 浅草橋周辺^{あさくさばし} → ここには玩具・人形・文具などを扱う商店が多く見られます。

ウ. かつぱ橋道具街 → 名前の由来ともなった、雨合羽^{あまがっぱ}（レインコート）や傘^{かさ}など、雨具に関する道具を中心とした商店街になっています。

エ. 田原町や稲荷町^{たわらまち いなりちょう} → この辺にはお寺が多かったことから、仏壇^{ぶつだん}やお線香などの商品を扱う店が多く見られます。

問19.

1952（昭和27）年、戦後の復興が進むと、新しい乗り物として、道路の上にはられた架線（電線）から電力の供給を受けて走るバスが開業しました。このバスは、線路を敷く必要がなく、路線バスより大きくたくさんの人が乗れ、燃料に石油を使わないですむという長所がありましたが、小回りが苦手な風雪に弱く、1968（昭和43）年に廃止されてしまいました。このバスは、何と呼ばれたのでしょうか。

ア. エレクトリカルバス

イ. トロリーバス

ウ. 市バス

エ. コントラバス

問20.

1885（明治18）年、隅田川を上り下りする小型の蒸気船が登場しました。1区間の料金にちなんだ愛称で呼ばれたこの船は、戦争が始まるとともにしだいに廃止されてしまいましたが、今では隅田川を水上バスが運航し、たくさんの観光客に親しまれています。さて、この船は何と呼ばれたのでしょうか。

ア. 一ポンド蒸気

イ. 一円蒸気

ウ. 一ドル蒸気

エ. 一銭蒸気

問2 1.

以下の文章は台東区にある橋や川に関する説明文です。間違っているものはどれでしょうか。

- ア. 台東区内で隅田川^{すみだがわ}にかかる橋には、吾妻橋^{あづま}、駒形橋^{こまがた}などがあります。
- イ. 台東区内で神田川にかかる橋には、蔵前橋^{くらまえ}、浅草橋^{せんそう}などがあります。
- ウ. 現在の白髭橋^{しらひげ}・桜橋^{さくら}・吾妻橋^{あづま}など、こうした橋が建設^{けんせつ}される以前は近くに渡し舟^{わたふね}が運航^{うんこう}して人々を対岸に運んでいました。
- エ. 現在、隅田川^{すみだ}は台東区と墨田区^{くざかい}の区境になっていますが、江戸時代^{えど}初期までは武蔵国^{むさしのくに}と下総国^{しもうさのくに}の国境^{くにざかい}とされていました。両国橋はこれにちなんで名づけられました。

問2 2.

江戸時代^{えど}、江戸の水上交通が発達した主な理由とは次のうちどれでしょうか。

- ア. 歩くのが大変だったため。
- イ. 一度に荷物をたくさん運べたため。
- ウ. 道路がなかったため。
- エ. 舟^{ふね}が楽しかったため。

問23.

門前町もんぜんまちとはどのような場所でしょうか。

ア. 寺の門前で、お祈りいのをするための場所。

イ. 寺の門前で、勉強べんきょうをするための場所。

ウ. 寺の門前で、寺院じいんに参拝さんぱいする人々に宿きゆうけいや休憩きゆうけいの場、飲食などを提供ていきょうするための場所。

エ. 寺の門前で、都市ぼうえいの防衛ぼうえいをするための場所。

問24.

「七福神詣しちふくじんもうで」はお正月に七つの神様をめぐり1年の福德を願う信仰しんこうで、区内には谷中七福神、浅草名所七福神、下谷七福神などがあります。七福神とは□だいこくてん・大黒天・毘沙門天びしゃもんてん・弁財天べんざいてん・福祿寿ふくろくじゅ・布袋ほとい・寿老人じゅうろうじんのことです。さて、□に入る神様は次のうちどれでしょうか。

ア. 恵比須えびす

イ. 目黒不動尊めぐろふどうそん

ウ. とげぬき地蔵尊じぞうそん

エ. 雷神らいじん

問25.

浅草寺では、毎年7月9日から10日に参拝すれば4万6000日間参拝するのと同じご利益があるとされる四万六千日という行事が行われます。この2日間には、浅草寺から何かの災いを除けるためのお札が出され、人々はこれをもって家に持ち帰ります。では、このお札は何による災いを除けるためのお札でしょうか。

ア. コロナウィルス

イ. 地震

ウ. 不合格

エ. 雷

問26.

年末の風物詩、西の市は、元は農具の市でしたが、縁起物としてあるものが売られるようになりました。それは、ある動物の手に似ていることから名づけられ、今ではおかめの面や小判などたくさんの飾りがついています。それは、平安時代には武具としても使用されていましたが、竹でつくられたものは、庭の落ち葉などをかき集める道具として使用されたことから、これが転じて福や徳をかき集める縁起物として売られるようになりました。この縁起物は何でしょうか。

ア. すき

イ. くわ

ウ. 熊手

エ. かま

問27.

毎年7月の最終土曜日に行われている「隅田川^{すみだがわ}花火大会」は、もともと江戸^{えど}時代の1733（享保^{きょうほう}18）年に、当時流行^はっていた病^{やまい}と飢饉^{ききん}で亡くなった人の慰霊^{いれい}及び悪霊^{あくりょう}の退散を念じて始められました。それを指示した将軍は次のうち誰でしょうか。

- ア. 5代将軍 徳川綱吉^{とくがわつなよし}
- イ. 6代将軍 徳川家宣^{いえのぶ}
- ウ. 8代将軍 徳川吉宗^{よしむね}
- エ. 11代将軍 徳川家斉^{いえなり}

問28.

立春^{りっしゅん}の前日の節分^{せつぶん}では、豆をまいて災難^{さいなん}を除ける風習^よがあります。この風習はどの時代から始まったのでしょうか。

- ア. 室町時代^{むろまち}
- イ. 昭和時代
- ウ. 平成時代
- エ. 令和時代

問29.

毎年正月に、報恩寺^{ほうおんじ}では「まないた開き」という、手を触れずに長い箸^{はし}と包丁で魚を料理する儀式^{ぎしき}が行われています。さて、このときに用いられる魚とは何でしょうか。

ア. クジラ

イ. タコ

ウ. シラス

エ. コイ

問30.

正月のしめ飾りなどを焼く行事で、鳥越神社^{とりこえじんじや}で行われるものは一般に何と呼ばれているのでしょうか。

ア. とんど焼き

イ. ぼうぼう焼き

ウ. もんじゃ焼き

エ. じゃんじゃん焼き

問31.

台東区内には古いお寺や神社が多く、それらの中には貴重な建物や多くの文化財^{ぶんかざい}や天然記念物などが保存^{ほぞん}されています。次のうち、台東区内に存在しない文化財はどれでしょうか。

ア. 日本聖公会浅草聖ヨハネ教会の建物^{にほんせいこうかいあさくさせい}

イ. 谷中^{やなか}にある玉林寺^{ぎょくりんじ}のシイの木

ウ. 下谷^{したや}にある小野照崎神社^{おのてるさき}の富士塚^{づか}

エ. 世界最古の木造建築^{もくぞうけんちく}といわれる法隆寺^{ほうりゅうじ}の五重塔^{ごじゅうのとう}

問32.

地元の伝承の1つに、浅草寺の本尊(観音像)は隅田川から陸に引き上げられたといい、のちにその引き上げ場所には馬頭観音を祀るお堂が建てられました。近くにはこのお堂と同じ名前の橋も架かっています。また、同じ名前のつくドジョウ料理のお店もあります。江戸弁かもしれませんが、古くは「こまんどう」と呼ぶ人も多くいました。さて、このお堂の名前は次のうちどれでしょうか。

- ア. 言問堂
- イ. 駒形堂
- ウ. 厩堂
- エ. 護摩堂

問33.

待乳山聖天のシンボルは大根と巾着ですが、それぞれのシンボルが表しているものの組み合わせとして、正しいものはどれでしょうか。

- | | |
|-----------------|---------|
| ア. 大根－美容 | 巾着－学業成就 |
| イ. 大根－健康増進・一家和合 | 巾着－商売繁盛 |
| ウ. 大根－商売繁盛 | 巾着－学業成就 |
| エ. 大根－学業成就 | 巾着－商売繁盛 |

問34.

a～dはすべてある人物の説明です。この人物は誰でしょうか。

- a. 佐賀県に生まれ、^{ながさき}長崎でシーボルトに学び、現在の台東1丁目で^{しょうせんどう}象先堂という^{じゅく}塾を開き、多くの塾生を養成しました。
- b. ^{えど}江戸時代に流行した^{てんねんどう}天然痘の予防のため、^{しゅとう}種痘というワクチンの^{せつしゅ}接種を^{じっし}実施しました。
- c. 神田岩本町付近に種痘所を設置しました。これはのちに西洋医学所と名前を改め、明治時代には^{はってん}東京大学医学部へと発展しました。
- d. この人物の^{はか}墓は^{やなか}谷中の^{てんりゅういん}天竜院にあります。

- ア. ^{よこやまたいかん}横山大観
- イ. ^{てづかおきむ}手塚治
- ウ. ^{いとうげんぼく}伊東玄朴
- エ. ^{ひらがげんない}平賀源内

問35.

明治時代になり文明開化の時代になると、^{びじゅつ}美術界にも西洋化の大きな流れが生じました。それに対して^{でんとう}伝統的な日本画を^{ふっかつ}復活させたり、日本画と西洋画を^{ゆうごう}融合して新しい日本画の^{そうさく}創作を目指した人々もいました。次の中で、アメリカ生まれの東洋美術史家フェノロサとともに日本美術の^{ふつこう}復興運動に加わり、東京美術学校の^{かいせつ}開設につくした人は誰でしょうか。

- ア. ^{おかくらてんしん}岡倉天心
- イ. バンクシー
- ウ. ^{かつしかほくさい}葛飾北斎
- エ. ^{さかいほういつ}酒井抱一

問36.

明治～大正時代の画家で、鹿児島に生まれ、はじめ法学を^{こころざ}志してフランスに渡りましたが、途中で画家に^{とちゅう}転向しました。帰国後、東京美術学校^{びじゅつ}の西洋画科の教授として、多くの洋画家を育てました。新しい近代日本洋画^{かくりつ}を確立し、貴族院議員^{きぞくいん}や帝国美術院長^{ていこく}なども^{れきにん}歴任しています。1928（昭和3）年には、遺産の一部を美術の奨励^{しょうれい}に役立てるよう^{ゆいごん}にとの遺言によって、上野にその名字をつけた記念館が建てられ、2002（平成14）年には登録有形文化財^{ぶんかざい}に登録されました。この人物は誰でしょうか。

- ア. 瀧廉太郎^{たきれんたろう}
- イ. 下村観山^{しもむらかんざん}
- ウ. 黒田清輝^{くろだせいき}
- エ. 平櫛田中^{ひらくしでんちゅう}

問37.

2023（令和5）年に^{せいたん}生誕100周年を迎えたこの人物は、昭和時代を代表する作家で、浅草に生まれました。太平洋戦争^{けいけん}を経験し、戦後は台東区役所にも勤務^{きんむ}しました。作品の多くがテレビ番組や映画にもなり、『鬼平犯科帳^{おにへいはんかちょう}』や『剣客商売^{けんかしょうばい}』などはよく知られ、何より台東区生涯学習センター1階には、この人物の「記念文庫」が^{もう}設けられています。さて、この人物とは誰でしょうか。

- ア. 島崎藤村^{とうそん}
- イ. 久保田万太郎^{くぼたまんたろう}
- ウ. 森鷗外^{おうがい}
- エ. 池波正太郎^{いけなみしょうたろう}

問38.

「泰平^{たいへい}の眠りをさます上喜撰^{じょうきせん}（蒸気船^{じょうき}）たった四杯^{しはい}（隻^{せき}）で夜も眠れず」これは1853（嘉永6）年に黒船4隻（四杯）が来た時、上喜撰というお茶になぞらえて読まれた狂歌^{きょうか}です。この時に来た黒船の司令官^{しらいかん}は誰でしょうか。

- ア. ペリー
- イ. ロッシュ
- ウ. パークス
- エ. グローニン

問39.

東京には不動明王^{ふどうみょうおう}の目の色によって、目黒不動などと呼ばれるものがあり、それが全部で5色あります。このうち、台東区三ノ輪の永久寺^{えいきゅうじ}のものは何と呼ばれるものでしょうか。

- ア. 目赤不動
- イ. 目黄不動
- ウ. 目青不動
- エ. 目金不動

問40.

江戸時代後期を代表する浮世絵師として知られ、「富嶽三十六景」や「富嶽百景」の作品を残した人は誰でしょうか。

- ア. 歌川広重 うたがわひろしげ
- イ. 葛飾北斎 かつしかほくさい
- ウ. 勝川春章 かつかわしゅんしょう
- エ. 歌川国芳 うたがわくによし



問41.

江戸時代の雑俳家で、川柳というジャンルを創始したのは誰でしょうか。

- ア. 柄井川柳 からい せんりゅう
- イ. 尾藤川柳 びとう せんりゅう
- ウ. 松尾芭蕉 まつ おばしょう
- エ. 小林一茶 こばやし いっさ

問4 2.

道路上の最初の木製^{もくせい}信号機は1919（大正8）年に上野松坂屋前^{せうしきばん}の下谷（上野）広小路交差点^{せっち}に設置^{せいち}されました。この信号機には標識板^{ひょうしきばん}が柱につけられ、それを手動で回して車の進行をコントロールしていました。その標識板には何と書かれていたのでしょうか。

- ア. 「トマレ」と「ススメ」
- イ. 「ストップ」と「ゴーゴー」
- ウ. 「ダメダメ」と「イケイケ」
- エ. 「ウゴクナ」と「ヨッシャ」

問4 3.

上野公園は、日本最初の公園として、1876（明治9）年に開園しました。開園の式典後のレセプションの会場として依頼^{いらい}されたのが、岩倉具視^{いわくらともみ}と知り合いであった西洋式レストランで、この年の4月に上野公園内にオープンし、^{げんざい}現在でもその地で営業^{えいぎょう}を続けています。この店は、次のうちどれでしょうか。

- ア. ドトールコーヒー
- イ. 精養軒^{せいようけん}
- ウ. スターバックスコーヒー
- エ. 東天紅^{とうてんこう}

問44.

不忍池しのぼずのいけは、江戸幕府えどぼくふができたころ、琵琶湖びわこに見立てて整備せいびされましたが、1884（明治17）年に競馬場けんせつを建設けんせつするため、周囲しゅういがだ円形にうめたてられました。この2kmほどの遊歩道かこで囲まれた不忍池は、レースを行うにはちょうど良い場所となっていたため、さまざまな種類のレースが行われました。それでは、次の中で、明治期に不忍池で行われなかったレースはどれでしょうか。

- ア. 自動車レース
- イ. オートバイレース
- ウ. 自転車レース
- エ. 電車レース

問45.

上野公園では毎年春になるとさまざまな種類の桜が花を咲かせ、たくさんの花見客でにぎわいます。その中でも日本で一番多く植えられ、一番有名な桜の名前は、上野の博物館つとに勤めていた藤野寄命ふじのきめいによって名づけられました。この桜は江戸時代末期えど まっきに江戸近郊きんこうの染井村そめいむらで作り出されたといわれ、当時は正式な名前がなく、吉野桜よしのざくらなどと呼ばれていました。この桜の名前は何でしょうか。

- ア. ソメイヨシノ
- イ. オオシマザクラ
- ウ. ウコン
- エ. アマノガワ

問46.

東京美術学校と東京音楽学校はのちに統合されましたが、現在は何という大学になっているでしょうか。

- ア. 上野学園大学
- イ. 日本大学
- ウ. 東京藝術大学
- エ. 東京学芸大学

問47.

この建物はアトリエと自宅を兼ねたもので、ここで「墓守」や「吊された猫」といった作品が作られました。『台東区 歴史・文化テキスト』の「メモ」の頁に掲載されている作品「たま」もこの建物に所蔵されています。さて、この建物とはどれでしょうか。

- ア. 旧岩崎家住宅
- イ. 朝倉彫塑館
- ウ. 一円庵
- エ. 横山大観記念館



問48.

この建物は上野にあり、2016（平成28）年に世界文化遺産に登録されました。ここは実業家の松方幸次郎氏が集めた西洋美術作品を展示するために建てられました。それでは、この建物とはどれでしょうか。

- ア. 旧 東京音楽学校奏楽堂
- イ. 国立西洋美術館本館
- ウ. 旧 東京帝室博物館（東京国立博物館本館）
- エ. 表慶館

問49.

1882（明治15）年に嘉納治五郎は下谷の永昌寺で講道館という名前の道場を開きました。治五郎は江戸時代に盛んだった武術を研究して、技術面と精神面の両方に優れたある武術をまとめ上げ普及させました。この武術は現在、オリンピック種目にもなっています。さて、講道館で教えたこの武術はどれでしょうか。

- ア. 弓道
- イ. 柔道
- ウ. 剣道
- エ. 忍術

問50.

明治時代の女流作家です。代表作に『たけくらべ』『にぎりえ』などがあり、24歳の若さでこの世を去ったこの作家は、だれでしょうか。

- ア. もりおうがい 森鷗外
- イ. ひぐちいちよう 樋口一葉
- ウ. こうだろはん 幸田露伴
- エ. しまざきとうそん 島崎藤村

